

認定こども園土浦幼稚園設立までのあゆみ

土浦幼稚園のあゆみ

土浦市立土浦幼稚園は、土浦西小学校(現:土浦小学校)附属幼稚園として、明治18年4月15日に、西小学校の一室に仮開園し、同年10月17日に開園式を行った。創立時はフレーベル教育法をもとにした保育が展開されていた。

その後、園児の増加により明治20年に新園舎を増築した。大正13年、大手町にモンテッソーリの『子どもの家』を模範にした園舎と園庭を新築したが、老朽化して昭和55年に建て替えられた。創立時に寄付された「鐘」、昭和2年アメリカと人形交換した青い眼の人形(土浦市博物館で保管)、フレーベルの恩物・モンテッソーリ教具や創立時からの関係書類など多くの貴重な資料が現存している。

平成24年4月にいくぶん幼稚園と統廃合し、新しく文京町でスタートした。

令和4年3月31日土浦市立幼稚園再編計画により閉園。

東崎保育所のあゆみ

昭和31年10月1日、土浦市の中心部駅前商店街のはずれに、土浦市立4番目の保育所として設立された。当時は保育所南を鷲宮神社に隣接し、東側、北側は田んぼで四季折々を感じながら保育を進めてきた。

創立当初は、木造平屋建てで定員90名だったが、昭和55年鉄筋コンクリート2階建てとなり、定員120名に改められた。

平成12年9月東崎保育所駅前分園が設置され、令和2年4月子育て支援センター『さくらんぼ』が所内に設置され、令和4年4月東崎保育所駅前分園が休園。認定こども園の設立に伴い、令和5年9月末で閉所。

認定こども園の設立

令和5年10月認定こども園土浦幼稚園として新たに設立。